



こころんNEWS

NO. 4
H20年2月

2月は、新しく始まった専門職チーム会議や、推進協関係者などが一堂に会した研修会などで、それぞれの人が日頃感じている課題をお聞きする機会が増え、とても刺激を受けた1ヶ月でした。

特に研修会での「4つの窓」のワークでは、推進協関係者など地域の住民の方たちが感じている昭和区の良いところや課題を聞くことができました。私たち社協職員が整理したものと同じ部分もあれば、少し目線が違う部分もあります。裏面の今回のワークの結果と1月号の特集の職員間のワークの結果を、一度見比べてみてください。

経過報告(H20.1.30~H20.2.29)

◆2/5 第2回プロジェクトチーム会議

- ・多問題家族の事例検討と、障害者の生活支援についての課題を出し合いました。今後も検討を重ねながら共通課題や具体策を話し合っていきます。
- ・学区間の違いを裏付ける基礎的データを今後整理していきます。

◆2/12 第1回専門職チーム会議

- ・医療、保健、福祉の専門職が日常業務で感じている、昭和区の現状や課題を出し合いました。〈主に出たこと〉

【障害者への理解】

- ・施設設立反対運動
- ・本人や家族の受容
- ・サービス利用

【医療】

- ・求められる医療
- ・福祉との連携

【虐待】

- ・児童虐待
- ・高齢者虐待

【地域福祉】

- ・都市部での地域福祉は必要かどうか、成り立つかどうか

→当面はデータを持ち寄っての現状把握と事例検討を重ねていながら、総合相談支援のシステム、また専門的なネットワークのあり方などを検討していきます。
・今後は原則第2火曜日の19:00~21:00に開催していきます。

◆2/19 第1次計画評価委員会

- ・第2次計画につなげるため16年度~19年度までの総合評価を行いました。主に社協のPRやたまり場などについて意見が出ました。

◆2/25(月) 推進協・社協役員研修「地域福祉推進研修会」

- ・推進協63名・理事評議員12名・作業部会委員6名・職員12名の、計93名の参加を得て実施しました。
- ・前半の講義でこれからはじまる第二次計画の主旨や課題の投げかけ、後半は学区ごとにグループワークをしました。
- ・今回の計画では「学区」がとても大事になります。
(詳細裏面)



今後の予定..

① 事務局会議

3/7(金) 17:00から開催します。

② 作業部会の中の、保健・医療・福祉の連携を考える「専門職チーム(仮称)」

第2回目を3/18(火) 19:00から開催します。(3月のみ第3火曜日です)

③ 策定委員会

第1回目を3/26(水) 14:00から開催します。

④ 作業部会

第1回目を3/26(水) 15:30から開催します。

講義「昭和区の地域福祉をどう推進していくか」要旨

- ・地域の現状と課題を分析することと、いいところを探してのばしていくことから計画は作り始める。
- ・昭和区と言っても高齢化率ひとつみても学区間格差が10%近くあるので、学区単位での分析も必要。
- ・学区ごとの地域福祉を創っていくためには、そこに住む私たちの意識改革と行動が求められます。

グループワーク「4つの窓」

(学区ごとの11グループと、役員・作業部会委員の計14グループに分かれてカードワークをしました)

① 私のまちのいいところ ＜地域のいいところを再発見する＞

＜学区グループから出た主な意見＞

- ・公園・緑が多い
- ・文教地区で落ち着いた静かなまち
- ・治安が良い
- ・団体の連携が良い
- ・人間関係が良い

＜区域グループから出たそれ以外の意見＞

- ・福祉サービスが多い
- ・サロンがある
- ・障害のある人が多く住んでいて、見守っている人がいる

② 身近なまちで困っていること ＜地域の課題を共有する＞

＜学区グループから出た主な意見＞

- ・子どもが少ない
- ・若い人たちが地域活動に参加しない
- ・危険な道や坂道が多い
- ・商店が減り、買い物が不便
- ・人間関係が希薄
- ・ゴミの分別などマナーが悪い
- ・子どもが安心して遊べる場が少ない

＜区域グループから出たそれ以外の意見＞

- ・住民が集まれる場（拠点）がない
- ・雰囲気の良い若者がたむろしている
- ・障害者への理解がない

③ こんなまちであつたらいいな ＜計画の目標・理念＞

＜学区グループから出た主な意見＞

- ・子どもが多い、子どもが元気なまち
- ・あいさつができるまち
- ・町内のつながりが良く、防災に強いまち
- ・安心して散歩ができるまち
- ・親子が一緒に住めるまち

＜区域グループから出たそれ以外の意見＞

- ・男性が地域参加
- ・すべての人にやさしいまち

④ わたしたちができること ＜具体的な行動・実践＞

＜学区グループから出た主な意見＞

- ・地域行事への参加
- ・自分からあいさつ、関りをもつ
- ・住民同士の交流の機会・場をつくる
- ・子どもにボランティア活動の大切さを教える
- ・独居高齢者の見守り

＜区域グループから出たそれ以外の意見＞

- ・一人一人の意識改革
- ・施設の開放、地域との交流
- ・学区組織にボランティアを入れる
- ・近所づきあいの活性化

今日のようなグループワークを学区の中で、できれば子どもなどにもメンバーをひろげてやってみませんか、との問いに対し、約半数の方々が「できると思う」「やってみたい」という前向きな意向をアンケートでいただくことができました。

(文責：野川)

